



運動会、がんばりました

～校長 伊藤 大二～

台風の影響で1日延期した昨年とはうって変わり、今年の運動会はさわやかな秋晴れの中、9月22日に実施されました。たくさんの来賓、保護者、地域のみなさまにご観覧、応援をいただき、無事終了することができました。運動会スローガン「運動会 すべての力をふりしぼれ」の通り、最後まで全力で演技、競技に取り組んでくれました。一つの行事を通して大きく成長する子どもたちの持つ無限の可能性に改めて驚かされました。特に5、6年生が学校の機関車として下級生を引っ張り、各係を分担して準備・片づけ、進行に大活躍して、高学年らしさを発揮してくれました。



また、PTAもお母さんだけでなく、多くのお父さん方に参加をしていただき、準備・片づけにもおやしパワーを遺憾なく発揮していただきました。多くのご支援、ご協力、本当にありがとうございました。

「さわやかあいさつ あたたかいことば 読書がいっぱい

ときわ小」の推進～チャレンジ目標の学校評価より～

常盤小学校のチャレンジ目標は「さわやかあいさつ あたたかいことば 読書がいっぱい ときわ小」です。人と人とのつながりの基本の「あいさつ」、人と人との絆を深める「あたたかいことば」、そして人への思いやりをはじめとする豊かな心を育てる「読書」は子どもの時に身につけておかなければならない大切な基本的事項です。

1学期末に実施した学校評価結果は以下のようになりました。

- 「あいさつ」が進んでできているとの肯定率は、
 - ・教員91% ・児童87% ・保護者67%
- 「あたたかいことば」に気をつけて取り組んでいるという肯定率は、
 - ・教員100% ・児童87% ・保護者64%
- 「読書」に親しんでいるという肯定率は、
 - ・教員86% ・児童74% ・保護者46%

3つのチャレンジ目標において特に「読書」については、教員の読書に親しむ指導や、児童の読書への親しんでいるとの肯定率に比べ、保護者の「我が子は日頃読書に親しんでいる」という肯定率が低くなっています。

本校でも、本年度から「学校図書館支援員」を配置し、図書室利用における読書活動への支援や朝の読書、読書の時間の設定等、各学年に応じた読書指導やママネットを中心とした読み聞かせ活動等、さまざまな取り組みをして、子どもの読書習慣作りに力を入れています。

テレビやゲーム、コンピュータに接する機会が増え、活字離れが進んでいるといわれます。ご家庭の様子はいかがでしょうか。読書をする時間を確保できるのは、学校より家庭の方が多く、読書をすすめるにあたっては、ご家庭のご協力が不可欠です。たいへん忙しい毎日ですが、時には親子で読書について話し合う機会を持たれてはいかがでしょうか。